

通学路の安全・安心は

答 安全確保の強化を図っていく



村上 博昭 議員

防犯に地域の力を

問 登下校時の子どもの見守り活動は、何を目的としたものなのか。
防災安全課長 当初は防犯を一番の目的として設立されたが、現在では交

問 学校の防犯カメラの

設置状況および効果は。 **学校教育課長** 平成27年度以降4校に設置。夜間侵入事案減少等の効果が認められた。来年度以降の設置は検討していない。

問 先進自治体では、登下校をメールで通知する「登下校通知システム」の設置を進めている。本市においても導入を。 **学校教育課長** システムの詳細・効果等について調査、研究を行い、導入するか否か判断する。

防犯対策に新たな取り組みを

問 小学校では「ふっけい安心メール」への登録を促し、保護者が登録している。今後、多くの目で子どもを見守るという意味でも、校区コミュニティ協議会や地域ボランティア等への登録拡大を検討できないか。
防災安全課長 これまで、防災メールに力を入れてきたが、今後は防犯メールについても周知啓発を図っていく。



地域の見守り活動(水洗校区)

市立病院の統合問題 どうなる



松竹 卓生 議員

問 平成28年10月、久留米大学から八女市、広川町、筑後市に筑後市立病院と公立八女総合病院の統合が提案されて約2年。現在の状況は。

市長 住民の命と暮らしを守るために、筑後市立病院はなくてはならない。市長就任直後に久留米大学長を訪ね、大学の意向を確認し、その中で、医師不足が深刻であるとの説明を受けた。収入の柱である医師の確保が難しくなっていることは直視せねばならず、医師確保対策を講じる必要があると感じている。



市が管理している公園は、大小17ある
(市民の森公園)

問 昨年9月策定の市行財政健全化実施計画に、公共施設や公園などの管理に関して、指定管理者制度総括で、よりよい管理運営のあり方検討という項目がある。そこに複数施設の同一指定管理者化などが挙げられている。どうなるのか。
都市対策課長 現在、清掃業務など、公共施設の管理をNPO法人筑後市障害者協議会やシルバー人材センター等へ委託。高齢者、障がい者等の就業機会確保も市の重要な責務であり、指定管理一括化による効率的な運営と両立が可能か、仕組みについて検討を進めている。

答 筑後市立病院は
なくてはならない

指定管理の 在り方は